

事務事業評価シート1(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0310/450505/07/01		事業の種類	1		
年度	20	事務事業名	救急救助活動事業		作成日	重要度	5
予算事業名	救急・救助活動業務経費		担当課名	消防本部 消防課			
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
施策名	消防・防災体制						
根拠法規及び関連法規	消防法、消防組織法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民(事故による傷病者。生命に危険を及ぼし、著しく悪化するおそれのある者。)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	災害時要援護者を迅速に救助して、応急処置を実施し、医療機関に搬送することにより市民の生命を守る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	救急・救助活動。救急搬送証明の発行。					
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	救急出場	件	1222	1212	1097	1150
	救助出動	件	19	12	12	15
	救急搬送証明	件	1	2	1	10
	緊急通報システム点検	回	365	365	366	365

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	5.700	6.143	107.8	6.050	98.5	5.200	86.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	49,722,234	54,189,828	109.0	51,921,978	95.8	44,892,864	86.5	
	事業費	2,619,106	5,244,279	200.2	3,917,430	74.7	1,423,000	36.3	
	合計	52,341,340	59,434,107	113.6	55,839,408	94.0	46,315,864	82.9	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	52,341,340	59,434,107	113.6	55,839,408	94.0	46,315,864	82.9	
	合計	52,341,340	59,434,107	113.6	55,839,408	94.0	46,315,864	82.9	

4 評価指標

[有効性]

指標名1	救急出動事業								
指標説明(式)	救急平均現場到着時間								
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
分	目標	6.3	6.3	100.0	6.3	100.0	6.8	107.9	
	実績	6.4	6.8	106.3	6.8	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

[効率性]

指標名1		救急救助出動1件当たりのコスト。							
指標説明(式)		人件費 + 手当 + 消耗品 + 車・備品代							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	42,176	34,640	82.1	60,398	174.4	51,621	85.5	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
有効性	組織運営・適正管理	常時救急救命士同乗に向け係間調整を行った。	5	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令に基づいた応急処置を行った。		
効率性	手段の最適性	署内で救急救助訓練を繰り返すことで職員全員の技術向上を図った。	5	5
	執行体制の効率性	各係間の応援により、効率的に執行している。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	救命率向上を目指して、救急救助技術の向上に努める。

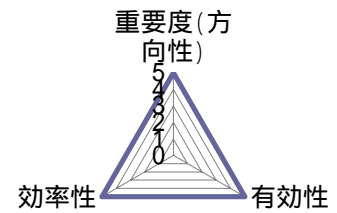
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	係間の連携を持つことで、救急活動をスムーズに行えた。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--	--	--



検討の有無	-
総合指標	20